

紙芝居文化の会みやぎ



「紙芝居文化の会みやぎ」は、2001年発足した『紙芝居文化の会』の会員の学びの場として、2004年に発足し会員は現在70名です。

紙芝居に魅せられ、東京での連続講座や宮城で主催した講座や例会で学び、様々な場で実践を積み重ねてきました。個人やグループでの紙芝居実演の場は、図書館、学校、保育所、幼稚園、子育て支援センター、高齢者施設等で子どもたちや高齢者に、紙芝居の楽しさを届けています。

一緒に紙芝居のすばらしさを楽しみましょう。



「たべられたやまんば」
脚本 松谷みよ子
絵:二俣英五郎 童心社発行

<学びの場>

* 例会は年4回、午前、紙芝居の理論、歴史などの講座で学び、午後はみんなの前でマイ紙芝居を演じ、演じ方や内容について話し合います。

* 紙芝居を見る会 (自主活動)

年4回 テーマに基づいた紙芝居の実演。多くの作品を見ることで作品選びの参考になります。

<実践の場>

* 12月7日 世界 KAMISHIBAI の日紙芝居リレー

* 依頼を受けての紙芝居おはなし会

泉図書館 太白図書館 市民図書館 宮城野図書館 宮城県図書館 のびすく泉 仙台文学館 エルソーラキッズコーナー 他

<交流の場>

定期的に通信を発行し、例会のまとめや情報の提供、投稿での会員同士の交流を図ります。



イラスト:とよたかずひこ

楽しい紙芝居の世界、あなたもぜひ仲間!

「紙芝居文化の会」I K A J A って?

紙芝居は、1930年に東京の下町で生まれた日本独自の文化財です。紙芝居を愛する人、興味のある人、演じたい人が国境を越えて出会い、交流する場として2001年に発足。現在、世界51か国に会員がいます。紙芝居の特性、作品世界が現実の世界に出ていき広がること、さらに、集中とコミュニケーションから生まれる『共感のよろこび』優れた作品を、優れた演じ手によって、世界中に広がることを願って、理論と実践を通して、学び合い深め合っていく会です。年会費 3000円

【12月7日 世界 KAMISHIBAI の日】

「紙芝居文化の会みやぎ」会員は、「紙芝居文化の会」に入会された方で構成しています。会費は無料です。詳しくは下記へお問合せ下さい、

紙芝居文化の会みやぎ 代表 伊藤 俊子 090-2952-3115
事務局長 竹丸 富子 090-5356-2655
杉山 秀子 080-3197-1531

